

さすな

第60号

令和2年第4回定例会

- 発行／合志市議会
- 編集／議会広報調査特別委員会
- 〒861-1195 熊本県合志市竹迫2140
- TEL 096-248-2038
- FAX 096-248-2047
- E-mail: gikai@city.koshi.lg.jp

令和3年1月28日発行

歴史を受け継ぎ 未来へ!!



西合志第一尋常高等小学校



須屋黒石尋常高等小学校



西合志中央尋常高等小学校



栄小学校



竹迫小学校



豊岡小学校



●合志市内の小学校の沿革（概要）

年/中学校区	合志中校区	西合志中校区	西合志南中校区	合志楓の森中
1873(明治6)年	(合志小の前身) 竹迫小・豊岡小開校。明治23年栄校開校	(西合志第一小の前身) 弘生学校開校	(西合志南小の前身) 須屋校、黒石校開校	
1874(明治7)年		(西合志中央小の前身) 笠ヶ島学校開校		
1875(明治8)年				
1947(昭和22)年		西合志第一小 (昭和22年校名改称)	西合志中央小 (昭和22年校名改称)	
1953(昭和28)年			西合志南小 (昭和28年校名改称)	
1959(昭和34)年	合志小 (昭和34年校名改称)			
1978(昭和53)年	合志南小			
1984(昭和59)年		南ヶ丘小		
2006(平成18)年	「合志市」市制施行（「合志町」と「西合志町」）			
2021(令和3)年				合志楓の森小

●合志市内の中学校の沿革（概要）

年/中学校区	合志中校区	西合志中校区	西合志南中校区	合志楓の中学校区
1947(昭和22)年	合志中学校 (創立時は合志村立)	西合志中学校 (創立時は西合志村立)		
1949(昭和24)年	恵楓園分教場 設置			
1977(昭和52)年	恵楓園分教場 休校			
1980(昭和55)年			西合志南中学校	
1994(平成6)年	恵楓園分教場 廃校			
2006(平成18)年	「合志市」市制施行（「合志町」と「西合志町」）			
2021(令和3)年				合志楓の森中学校

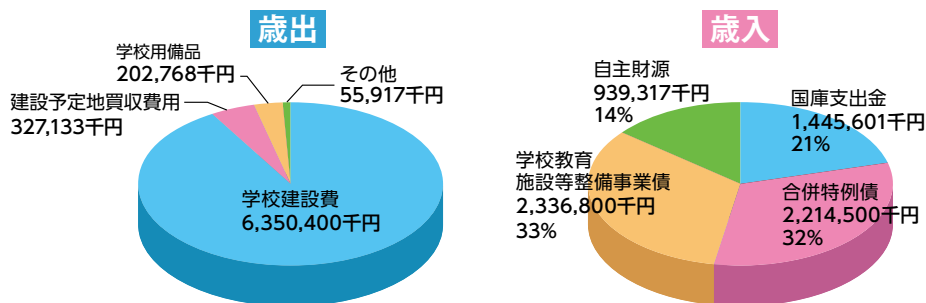
●合志楓の森小学校・合志楓の森中学校の建設事業の概要

学校建設関係の総事業費は約69億円で、内訳は以下の通りです。

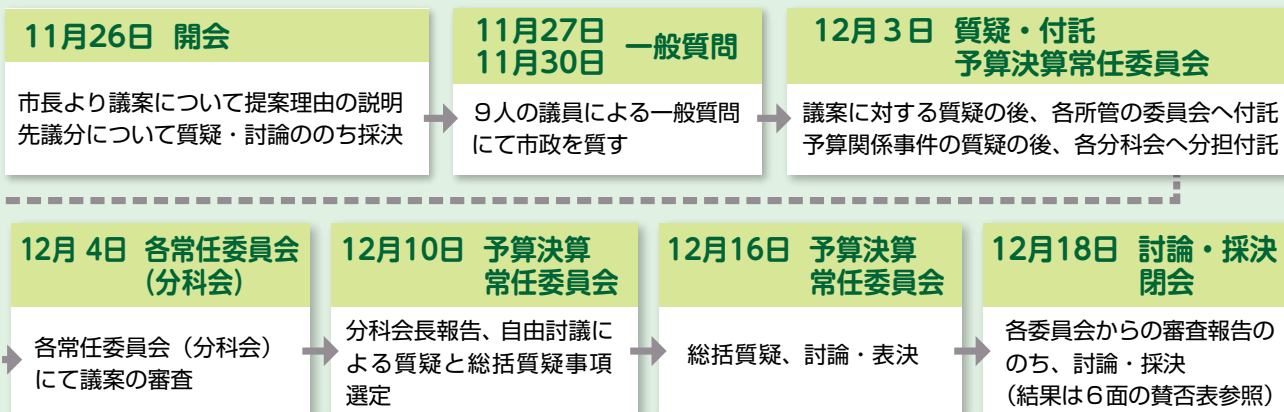
○校舎や体育館を始めとする建物関係の建設費用については、約63.5億円です。そのうち、国からの交付金が約14.5億円、合併特例債や学校教育施設等整備事業債を組み合わせた起債額が約42億円で、残りの約7億円が一般財源からの支出となっています。また、一般財源の約7億円のうち、約5.4億円はこれまでに基金として積み立てていた分を充てています。

○建物以外の経費の合計として約5.8億円であり、その主な内訳が土地の取得費用で約3.3億円、学校を運営するための必要な各教室で使用する机・イスなどの各種備品や消耗品関係費用として、約2億円です。

●合志楓の森小学校・合志楓の森中学校 建設関係事業費



合志市議会 12月定例会の流れ



もくじ

CONTENTS

- 歴史を受け継ぎ 未来へ!!
- 12月定例会の流れ 1
- 合志市一般会計補正予算
- 条例改正、人事案件 2
- 委員会、議員提出議案
- 議会だよりに関する座談会 3
- 常任委員会・分科会の審査概要 4
- 一般質問 5
- 賛否一覧表、次回定例会日程 編集後記 6

令和2年度 合志市一般会計補正予算

補正額 (第8号) 3億7,853万2千円
(第9号) 5億4,479万円
(第10号) 4,550万6千円

総額 369億7,842万2千円

第8号

商品券事業

3億2,173万7千円

家計への支援及び地域経済の消費活性化を促進するために市民一人当たり5千円を配布するもの



予防接種委託事業

2,455万円

65歳以上の方のインフルエンザ予防接種の自己負担を0円にするもの
新型コロナウイルスとインフルエンザウイルスの同時期流行を最小限に抑え重症化リスクが高い高齢者への感染リスクを軽減するため



第9号

児童発達支援

放課後等デイサービス給付事業

1億1,700万円

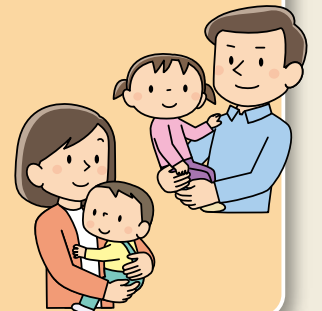
新型コロナウイルス感染拡大防止による学校の臨時休業に伴う費用及び新規決定者の増加によるもの

第10号

ひとり親世帯臨時特別給付金 関連経費

4,550万6千円

新型コロナウイルス感染症の影響が大きいひとり親家庭世帯支援のため、再度、基本給付を支給するもの



条例改正

原案可決

● 合志市一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

合志市職員の期末手当額を令和2年12月分は「100分の5」引き下げ（「100分の130」→「100分の125」）、令和3年以降は6月分と12月分とも「100分の2.5」引き下げる（「100分の130」→「100分の127.5」）もの。

● 合志市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

● 合志市水道事業、工業用水道事業及び下水道事業の設置に関する条例の一部を改正する条例

他5件の条例および議員の賛否については6面をご覧ください。

合志市新市建設計画の変更を可決しました

合併特例債の発行期間が5年間延長されることで、利用可能残額約26.6億円の利用が令和7年度まで可能となります。そこで、本市合併後の一体的な発展、市民の交流や一体感の醸成をさらに推進するため、「新市建設計画」の計画期間を5年間延長し、令和7年度までの計画と変更するもの。

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦 あかさか 赤坂 いちや 一矢 氏（南陽区）

財産の取得

GIGAスクール用端末（7,630台）等の購入 4億6,147万1千円
市道御代志木原野線改良工事に伴う用地の取得 7,288万5千円

委員会提出議案

たばこ税を活用した分煙環境整備に関する意見書

国において、「望まない受動喫煙」の防止を目的とする改正健康増進法の段階的な施行がなされており、改正の趣旨として「望まない受動喫煙をなくす」「健康影響が大きい子ども、患者等への配慮」「施設の類型・場所ごとに応じた対策」という基本的考え方が示されている。同法趣旨は、まさに「望まない受動喫煙をなくす」ことがその本旨であり、決して禁煙を推進するものではなく、非喫煙者と喫煙者がお互いを尊重し共存できる社会を求めるものである。また同法は、受動喫煙を受けたくない者を保護するために喫煙者の権利を一定制限することから、その実態が喫煙者の排除にならないよう留意しなければならないものである。

「望まない受動喫煙」の防止を図ることは当然なされるべきものであり、異論の無いところである。ゆえに非喫煙者に受動喫煙が生じないための環境整備が同時に必要である。

たばこ税は、国、地方合わせて年間2兆円の財源であり、その用途は、普通税として国及び地方公共団体の判断に委ねられている。「令和2年度地方税制改正大綱」においては「望まない受動喫煙防止対策や今後の地方たばこ税の安定的な確保の観点から、地方たばこ税の活用を含め、地方公共団体が積極的に屋外分煙施設等の整備を図るよう促すこととする。」とされている。

しかし、望まない受動喫煙を防止するためには、公共施設における分煙環境の整備や、駅前・商店街などの場所における屋外分煙施設の設置等が考えられるところであり、また、こうした取組は今後のたばこ税の安定確保にも資すると見込まれることから、屋外分煙施設等の整備を図るために、たばこ税の活用を検討頂きたい。

よって、国におかれては、改正健康増進法の目的である「望まない受動喫煙防止」の実効性を高めるために、そして多様な国民が心地よく共存できる社会の実現のため、その責務を以って分煙環境整備に取り組みられるよう次の事項を含め強く意見・要望する。

- 1 たばこ税の一部を「望まない受動喫煙」防止の推進を目的とした分煙環境整備に活用するよう法の整備を行うこと。
- 2 地方公共団体の分煙環境整備に対する地方財政措置、並びに条件の緩和・簡便化、所要の見直しを行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 内閣官房長官 総務大臣 財務大臣 あて
提出者…総務常任委員長 後藤 修一

議員提出議案

不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書

日本産科婦人科学会のとめによると、2018年に不妊治療の一つである体外受精で生まれた子どもは5万6979人となり、前年に続いて過去最高を更新したことが分かった。これは実に16人に1人が体外受精で生まれたことになる。また晩婚化などで妊娠を考える年齢が上がり、不妊に悩む人々が増えていることから、治療件数も45万4893件と過去最高となった。

国においては2004年度から、年1回10万円を限度に助成を行う「特定不妊治療助成事業」が創設され、その後も助成額や所得制限などを段階的に拡充してきている。また、不妊治療への保険適用もなされてきたが、その範囲は不妊の原因調査など一部に限られている。保険適用外の体外受精や顕微授精は、1回当たり数十万円の費用がかかり何度も繰り返すことが多いため、不妊治療を行う人々にとっては過重な経済負担になっている場合が多い。

厚生労働省は、不妊治療の実施件数や費用などの実態調査を10月から始めているが、保険適用の拡大および所得制限の撤廃も含めた助成制度の拡充は、早急に解決しなければならない喫緊の課題である。

そこで、政府におかれては、不妊治療を行う人々が、今後も安心して治療に取り組むことが出来るよう、下記の事項について早急に取り組むことを強く求める。

- 1 不妊治療は一人一人に最適な形で実施することが重要であるため、不妊治療の保険適用の拡大に当たっては、治療を受ける人の選択肢を狭めることがないように十分配慮すること。具体的には、現在、助成対象となっていない「人工授精」をはじめ、特定不妊治療である「体外受精」や「顕微授精」さらには「男性に対する治療」についてもその対象として検討すること。
- 2 不妊治療の保険適用の拡大が実施されるまでの間については、その整合性も考慮しながら、所得制限の撤廃や回数制限の緩和など既存の助成制度の拡充を行うことにより、幅広い世帯を対象とした経済的負担の軽減を図ること。
- 3 不妊治療と仕事の両立できる環境をさらに整備するとともに、相談やカウンセリングなど不妊治療に関する相談体制の拡充を図ること。
- 4 不育症への保険適用や、事実婚への不妊治療の保険適用、助成についても検討すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

内閣総理大臣 厚生労働大臣 あて

提出者…合志市議会議員 松井 美津子

議会だより「きずな」に関する座談会

令和2年11月5日(木曜日)午後7時から市役所3F議員控室にて、市民の皆さん6人と議会だより「きずな」広報調査特別委員会の議員6人との懇談会が開催されました。ここでいただいた貴重なご意見は、今後の紙面づくりに活用していきます。

- 元教師ですが、教育予算に力を入れていることがよく理解出来る。もっと市民に分かりやすくアピールすべき。
- 字の大きさもちょうど良く、写真やカラーである点も見やすい。
- ページ数も適度で色鮮やかだと思ふ。

- ペーパーレス時代に紙面が必要か？HP等を充実させ、その入口となる程度の紙面でいいのでは。
- 配布する区長も大変。広報こうしに市議会のページを掲載するという方法でも事足りるのでは。

(予算決算の記事を見て)

- グラフや前年度比較もわかりやすいが、数字ばかりではなく、一目で概要が分かるような表など活用してほしい。
- 数字ばかりでなく、市民生活にいかに関係するかを記してほしい。
- 具体的内容が分からない。細かい変化の理由などメリハリをつけてほしい。

●見出しをインパクトあるものにするような工夫が必要。

●難しいかもしれないが、遊び心がある方が関心を持れると思う。

●トップページに目次があった方が、興味あるところから読める。



●議員の生の声が聞こえない。血が通っていない(内容が事務的)

●結果の報告だけでなく、市がどのような方向に進もうとしているのかが見えない。

●一般質問しない議員は顔と名前が分からない。議員の紹介のようなコーナーを作ってもいいのでは。

●QRコードを充実させて欲しい。(市議会HP自体のQRコードはなぜ載せないか)

●楓の森小・中学校の建設中の様子など、時事に沿った関心事を掲載してほしい。

(委員会・議員提出議案は全文必要かとの問いに対して)

●正直読まないのが要約すると内容のニュアンスが変わってくるのでは。

(きずなが家族間で話題になるかとの問いに対して)

●報告と数字の羅列のため話題にならない。

常任委員会・分科会(予算決算常任委員会)の審査概要

総務

委員長 副委員長
委員 委員 委員 委員
後藤 濱元 来海 青山 後藤
藍 祐二 幸一 恵子 隆幸 修一

【委員会】

合志市手数料徴収条例の一部を改正する条例

交通防災課

- 問** 火薬類取締法に基づく保安検査、立入検査事務を行なう際は専門的な知識をもった者が必要ではないか。
- 答** 合志市の実情としては九州沖縄農業研究センターの申請のみで、立入検査などが発生した場合、県と情報共有し、県火薬保管協会の巡回指導員と共に対応することになる。

【分科会】

令和2年度合志市一般会計補正予算(第9号)

財政課

- 問** ふるさと納税が増えた要因は。
- 答** ふるさと納税サイト運営業者変更に伴う納税サイト内の充実が要因である。

財政課

- 問** マイナポイントの受付窓口はどこに設置するのか。
- 答** 1階のロビーに設置する予定である。

交通防災課

- 問** 地域おこし協力隊にかかる経費を減額したことについて、空き家対策が都市計画課へ移行したが、今後、都市計画課で雇用する予定があるか。
- 答** 業務委託先である株式会社こうし未来研究所で専門的な知識を持った方を雇用するため、今の段階で雇用予定はない。

文教経済

委員長 副委員長
委員 委員 委員 委員
齋藤 上田 吉野 西野
大正 昭也 健司 隆博

【委員会】

合志市水道事業、工業用水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

令和2年度合志市水道事業会計補正予算(第3号)

令和2年度合志市下水道事業会計補正予算(第2号)

【分科会】

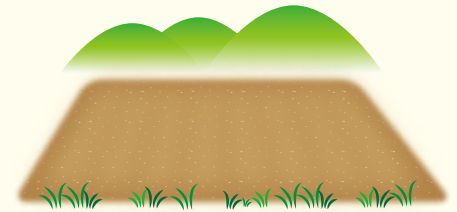
令和2年度合志市一般会計補正予算(第9号)

商工振興課

- 問** 令和3年度の市民祭りについて、具体的な実施案は。
- 答** コロナ禍を考慮し、感染防止に配慮し充実した内容となるよう検討していきたい。

農政課

- 問** 合志市経営体次期作等支援金の申請方法はどのようなものを考えているのか。
- 答** 次期作に取り組むために購入した資材などの領収書のコピー添付程度にして簡素に申請ができるよう検討している。



健康福祉

委員長 副委員長
委員 委員 委員 委員
永清 犬童 坂本 青木 澤田 松井
和寛 正洋 早苗 照美 雄二 津子

【委員会】

令和2年度合志市介護保険特別会計補正予算(第2号)

令和2年度合志市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

令和2年度合志市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

保険年金課

- 問** 国保事務の市町村事務処理標準システム導入に伴い、費用はかかるのか。

- 答** 標準システム導入費用については市の負担は発生しない。

【分科会】

令和2年度合志市一般会計補正予算(第9号)

福祉課

- 問** 放課後等デイサービス支援事業は何カ所も利用できるのか。
- 答** 要件を満たせば2カ所以上の事業所利用は可能である。

予算決算

委員長 副委員長
委員 委員
全議員 議長を除く
来海 青木 照美
恵子

- 令和2年12月3日(木) 全体会 分科会の設置
- 12月4日(金) 各分科会による審査
- 12月10日(木) 全体会
分科会長報告、自由討議、総括質疑事項の選定
- 12月16日(水) 執行部に対する総括質疑、討論、表決

市道御代志木原野線の整備に伴う交通渋滞について

- 問** ① 工事に至る経緯および概要の確認
② 県道熊本菊鹿線への影響について
- 答** 周辺土地利用計画により、東西に連絡する主要路線となり、交通量や歩行者の増加が相当数見込まれるため、歩道整備、市道の2車線化に至った。今回の車道拡幅と歩道設置により、市民の移動の円滑化および通学路の安全な通行の確保を図る。また県道熊本菊鹿線との交差点に右折レーンを設置する。付近の市道木原野中1号線との交差点における右折レーン設置のため令和元年度より要望

を行なっている。
※当委員会としても県との協議を引き続き、さらに強く行なうべく要望した。

保育補助者雇上強化事業補助金

- 問** ① 補助金を申請しない施設の状況把握について
② 補助者を希望している施設への対応について
- 答** 要件における条件が厳しいなどの理由で応募がない。市では保育士等人材バンクの活用などで施設への橋渡しをすることを考えている。
※当委員会では保育の質の向上において必要不可欠と認識しているので、さらなる事業の促進を要望した。



一般質問

各議員の一般質問の様子は、QRコードでインターネット録画をご覧ください。



後藤 祐二議員

買い物弱者問題に向けての取り組みについて

- 問** 合志市の買い物弱者の現状は。
答 本市においても不便を感じている地域や住民の方々は少なくないと思われる。
問 実情に合わせた行政の関わりは。
答 平成23年度に重点区域土地利用計画を策定し、平成28年度に大型商業施設「アンビー熊本」の誘致、平成30年度に御代

志地区の土地区画整理事業が開始された。中九州横断道路に伴う土地利用も進めていく。また、社会福祉協議会と連携し、移動販売による買い物支援事業「お出かけ応援プロジェクト」の実証を開始した。

- その他の質問事項** ●文化財保護法改正による行政の役割について



濱元幸一郎議員

介護保険料について

- 問** 第8期介護保険事業計画に向けて、来年度からの介護保険料改定が検討されている。介護保険スタート時から倍以上の保険料となっている。介護給付費準備基金も今年の10月末で約2億円の残高がある。準備基金の全額を繰り入れ保険料を抑えるために使うことや、一般財源の繰り入れも検討するなど、保険料を上げないためにあらゆることを検討すべきだ。負担軽減こそお願い

したい。
答 第8期介護保険事業計画の保険料改定については、現在策定委員会で協議をしている。介護給付費準備基金を取り崩して、保険料の上昇抑制にあてることを検討している。

- その他の質問事項** ●保育行政について



上田 欣也議員

移転後の泉ヶ丘消防署跡地について

- 問** 泉ヶ丘消防署がある現在地の権利関係はどうなっているか。
答 土地は合志市、建物については菊池広域連合の所有になっている。
問 移転後、現在の建物は残るのか。解体は市でやらないといけないのか。
答 建物については広域連合の所有だが、更地にして返還しても

らうことになっている。
問 移転後の計画はあるのか。またどういう形で進めるのか。
答 現在のところ具体的な計画はない。返還時期等が示されたあと関係機関と協議、地元の意見等も参考に準備に入りたい。

- その他の質問事項** ●菊池・鹿本地域自転車ネットワークについて
●地球温暖化対策実行計画について ほか



松井美津子議員

新型コロナウイルス感染症対策にナッジの活用を

- 問** 新型コロナウイルス感染症が増加傾向にあり、新型コロナウイルス感染症対策の一つとして、ナッジの手法を使い、人の心をさりげなく誘導して魔法をかけるよう行動を促すことを考えてはどうかか。
答 感染症予防のためにいろんな消毒をするところに感謝を伝えるメッセージを掲示したり、テープで矢印をしてわかりやすく

することにより、実効性や効率を高めることができるのがナッジの手法なので感染症対策の中に取り入れたい。

- その他の質問事項** ●自殺対策について
●暗所視支援眼鏡について ほか



永清 和寛議員

卒FIT等の再エネの利活用について

- 問** 卒FIT問題をどのように受け止めているのか。また、蓄電池導入補助金等の救済措置は取らないのか。
答 誤った情報や誤解を招く表現での勧誘が懸念されるため、分かりやすい情報提供に努める。また、蓄電池や電気自動車導入に関しては、国や県の補助があるため、まずそちらの周知を行なう。
問 卒FIT対策も含め、電力の地産地消のために、自治体新電力

会社を設立してはどうか。
答 現時点では設立を進める段階ではない。地域に与えるメリットなどを市民も理解する必要があり、今後も設立の可能性について研究する。

- その他の質問事項** ●冠水問題における治水対策について
●デジタル社会に向けた取り組みについて



野口 正一議員

本人通知制度に関する対策について

- 問** 本人通知制度の周知と登録者拡大の対策として、啓発ポスターの作成についてはサイズをもっと大きくし、内容についてはもう少し検討の余地があると思うがどうかか。
答 啓発ポスターのサイズはA3サイズで掲示をしているが、要望にお応えできるように大きいサイズに広げ、効果的な周知内容になるよう努める。

問 更新手続きをうっかりして忘れる事があると聞いているが、更新手続きの際に案内通知書の発行は実施できないのか。
答 今後は市の広報紙等で周知の際に、更新に関する案内通知書も周知を図る。

- その他の質問事項** ●自転車の交通安全対策について
●小学校運動会へ消防団員出動参加について



青山 隆幸議員

市内全ての災害危険個所のハザードマップを

- 問** これまで5回にわたって堀川の浸水想定について質問してきたが、今回は市内のその他の災害危険箇所について伺う。
答 本市には堀川の他に野々島川、上生川、塩浸川、上庄川、日向川等がある。来年度には県の浸水想定等の調査が行われる。
問 河川以外の災害危険箇所はどうかか。
答 土砂災害警戒区域は、17行政区59カ所117世帯で、同地域

には要支援者は71名、児童生徒数は15名である。
問 市内の災害危険箇所を網羅したハザードマップが必要であると思う。2016年に配布された「防災マップ」の改訂予定は。
答 来年度の予算で改訂する予定である。

- その他の質問事項** ●合志市総合防災訓練について
●要配慮者利用施設の避難計画について



辻 藍議員

コロナ禍での市民の健康維持について

- 問** 高齢者および小中学生の健康維持のための取り組みについて。
答 高齢者については、「こうし健脚塾」「おうちで健脚塾」や「脳活き活き教室」などを実施している。小中学生については、現在は通常に近い活動が出来ており、運動会や体育大会も規模や内容を変更しながら実施した。しかしきっかけや取り組みはなかなか出来ていない状況が続いている。

問 運動の機会や場所の提供として小学校のグラウンドを開放してはどうか。
答 原則として、運動場の開放は行っていないが、社会体育施設として使用許可を取れば、使うことが出来る。

- その他の質問事項** ●新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業について



来海 恵子議員

免許返納、市独自の特典を！

- 問** 免許返納については、市独自でレターバスや巡回バスを半額にできないかを質問し、平成30年度から地域公共交通協議会で協議するとの答弁であった。合志市の自主返納者数は、平成29年142名、平成30年144名である。玉名市では、返納者に加盟店で使える商品券2,000円等の特典で、10年間で年間数人だった返納者が、昨年度は462名、県下でトップクラスとのこと。

合志市では、どのように協議されたのか。
答 免許返納者については、移動手段の環境変化に対する支援として、枚数限定での回数券の無料配付を考えている。実施時期については、来年度を見込んでいる。

- その他の質問事項** ●一般質問その後の確認（4問）
●高齢者家族介護用品給付事業について



賛否一覧表

※ 議決結果欄の意味はそれぞれ次のとおり 可=可決 承=承認 適=適任 採=採択
 ※ 採決結果欄の意味はそれぞれ次のとおり ○=賛成 ●=反対 △=退席 長=議長 (議長は、議決には加わりません。可否同数となったときは裁決権を行使します。)

令和2年第4回定例会審議結果 (11月26日~12月18日)

議案等の名称	議決結果	議員名																			賛成	反対
		1 永清和寛	2 辻藍	3 辻大二郎	4 後藤祐二	5 犬童正洋	6 澤田雄二	7 野口正一	8 齋藤正昭	9 青山隆幸	10 西尾隆博	11 後藤修一	12 濱元幸一郎	13 上田欣也	14 坂本早苗	15 吉永健司	16 来海恵子	17 松井美津子	18 青木照美	19 坂本武人		
承認 承16 専決処分(令和2年度合志市一般会計補正予算(第8号))の承認	承	全会一致																	長	18	0	
議56 合志市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可	全会一致																	長	18	0	
議58 合志市手数料徴収条例の一部を改正する条例	可	全会一致																	長	18	0	
議59 税外収入金に係る督促手数料及び延滞金徴収に関する条例の一部を改正する条例	可	全会一致																	長	18	0	
議60 合志市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可	全会一致																	長	18	0	
議61 合志市介護保険条例の一部を改正する条例	可	全会一致																	長	18	0	
議62 合志市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	可	全会一致																	長	18	0	
議63 合志市監査委員に関する条例の一部を改正する条例	可	全会一致																	長	18	0	
議64 合志市水道事業、工業用水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可	全会一致																	長	18	0	
議65 令和2年度合志市一般会計補正予算(第9号)	可	全会一致																	長	18	0	
議66 令和2年度合志市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可	全会一致																	長	18	0	
議67 令和2年度合志市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可	全会一致																	長	18	0	
議68 令和2年度合志市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可	全会一致																	長	18	0	
議69 令和2年度合志市水道事業会計補正予算(第3号)	可	全会一致																	長	18	0	
議70 令和2年度合志市下水道事業会計補正予算(第2号)	可	全会一致																	長	18	0	
議72 令和2年度合志市一般会計補正予算(第10号)	可	全会一致																	長	18	0	
議57 財産の取得	可	全会一致																	長	18	0	
議71 合志市新市建設計画の変更	可	全会一致																	長	18	0	
議73 財産の取得	可	全会一致																	長	18	0	
諮2 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること	適	全会一致																	長	18	0	
報告 報11 専決処分(損害賠償に係る額の決定)の報告		報告終了																				
報告 報12 専決処分(損害賠償に係る額の決定)の報告		報告終了																				
報告 報13 専決処分(損害賠償に係る額の決定)の報告		報告終了																				
委員会提出議案 委提5 「たばこ税を活用した分煙環境整備に関する意見書」の提出	可	全会一致																	長	18	0	
議員提出議案 議提8 「不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書」の提出	可	全会一致																	長	18	0	

令和3年第1回定例会日程(予定)

月	日	曜	会議名	主な内容
2	24	水	本会議	市長提出議案上程及び提案理由説明
	25	木	本会議	一般質問
	26	金		
3	1	月	本会議	一般質問
	3	水	本会議	質疑、各常任委員会付託
			予算決算常任委員会	質疑、各分科会分担付託等
	4	木	常任委員会(分科会)	付託事件の審査
	5	金		
	8	月		
	9	火		
	11	木	予算決算常任委員会	分科会長報告、自由討議 総括質疑、討論、採決
17	水			
19	金	本会議	委員会審査報告(質疑、討論、採決) 追加議案(上程、質疑、討論、採決)	

議会広報調査特別委員会

委員長 上田 欣也 副委員長 青山 隆幸
 委員 澤田 雄二 委員 辻 大二郎
 委員 辻 藍 委員 永清 和寛

編集後記

新型コロナウイルス感染症は、収束せぬまま令和3年になり、その流行は第3波を迎え、この先はどうなるか見通せない状態が続いています。医療従事者をはじめとする関係各位のご尽力には頭が下がります。

昨年8月には、このコロナ禍に加えて台風7号接近に伴う住民の避難も実施され、複合災害状態での避難となった訳です。台風勢力の急速な衰えで被害の程度は少なかったものの、密を避ける感染症対策で避難所の収容可能人員が大きく削減され、希望とは違う避難所へ行かれた方も多かったようです。事前に職員に対する訓練を実施しており、大きな混乱はなかったと聞いています。


しかし進路経路・日時などのおおその予測がつく台風避難とは違い、地震の場合はいきなり避難所に大勢の市民が押し寄せてくる訳ですし、コロナ禍における地震災害となるとまた事情は違ってくると思われれます。まもなく東日本大震災から10年目、熊本地震から5年目になります。その間、市内3カ所に新たに「防災拠点センター」を建設するなど、着々と防災対策が進められてきました。が、昨年熊本県では球磨川水害を経験し、私達が直面する自然災害は地震だけではないと思いがちになりました。本市においても堀川をはじめとする中小河川があり他人事ではありません。

災害時要支援者の避難計画など本市の防災対策は今後も続きます。合志市議会では、市民の皆様の方の安心安全を守るための着実な施策を推進してまいります。

(青山隆幸)

インターネットで議会の様子をぜひご覧下さい。

合志市議会 検索



ホームページアドレス
<https://www.city.koshi.lg.jp/gikai/default.html>